

生活者・生産者をむすぶ生活クラブ（エス）を楽しみ、参加する（エンジョイ&ジョイン）ための情報提供がジョイエスの役割です



生活クラブ農園・あきる野では農福連携の実践として、東京都立あきる野学園で学ぶ高校生の農園芸作業学習を受け入れしています（関連記事 P3-5）

【鼎談】

「農」と「福祉」をつなぐ地平に
だれもが生きやすい地域づくりとは

P3-5
特集

あきる野市障がい者就労・生活支援センターあすく センター長 原 智彦さん
東京都立あきる野学園 主幹教諭 山崎 達彦さん
多摩きた生活クラブ 理事 小宮山 寛乃さん

P2 第 56 回通常総代会報告

P6 イベント案内（展示会・協同村・生活クラブの学校）

P7 リレーコラム 学校給食での牛乳 200ml びんの取組み
わたしの声 Q & A・わたしの声カードなど

P8 コワーキングスペース永福
さまざまな人・働き方に出会う まちの拠点

組織の概要（2024年6月末現在）

- 組合員数（デポ含む）92,531人 ●6月度加入 661人/脱退 706人
- 6月度利用高 17 億 4,936 万円/世帯当り 24,288 円（デポ除く）



夏限定 // 8/31まで

紹介キャンペーン

生活クラブを紹介した
あなたとお友だちに
温州みかんジュース（485ml）を
プレゼント

8/31
まで

紹介はこちら▶

生活クラブでんき

Instagram クイズキャンペーン

9/1
まで

生活クラブ東京の Instagram アカウントを
フォローしクイズに解答した方に、抽選で生
活クラブでんき SIGG ボトルをプレゼント

詳細はこちら▶



小宮山 寛乃さん
多摩きた生活クラブ
理事 兼 農あるまち
づくり委員会 農福連
携チーム メンバー



山崎 達彦さん
東京都立あきる野
学園 主幹教諭



原 智彦さん
あきる野市障がい
者就労・生活支援セ
ンターあすく セン
ター長

小宮山 多摩きた生活クラブの理事をしながら、生活クラブ農園・あきる野の農福連携チームに参加しています。私には28歳になる自閉症の息子がいます。以前は軽作業を中心に行うB型作業所で働いていましたが、体調に波があり、今は農作業のプログラムがある生活介護事業所に通所しています。

山崎 東京都立あきる野学園は、肢体不自由や知的障がいのある小学生から高校生までの児童・生徒約300人が学んでおり、進路指

導担当として生活クラブとの連携に関わってきました。

原 都の「区市町村障害者就労支援事業」として、あきる野市から委託を受け、市の障がい者福祉計画に沿って障がいのある人の就労支援を行うセンターでセンター長をしています。就労する上での福祉サービス利用の相談や、就労を希望する人と企業をつないでいます。

小宮山 2016年に開園した生活クラブ農園・あきる野では、2019年からあきる野学園の生徒を受け入れて農園芸作業学習を行っています。どのような経緯で始まったのでしょうか。

山崎 農作業することで応用力・適応力が高まります。これは障がいによって苦手な部分でもありますが、難しい場面があると、生徒どうしでどうすれば良いか相談することもあります。それが本当に嬉しいですね。

あきる野市での農福連携の取組み

生活クラブ農園・あきる野から「社会」に出会う

生活クラブ農園・あきる野の「農福連携」

「農」と「福祉」をつなぐ地平に だれもが生きやすい地域づくりとは

9.2%。これは、何らかの障がいがあるながら暮らす人の割合で、増加傾向にあります。他方で、農業の担い手は減少し続けています。この状況を受け、注目されているのが「農福連携」です。障がいのある人が農業との関わりを通じて社会参画を実現すると共に、新たな農業の担い手確保につながる取組みです。

生活クラブ農園・あきる野では、近隣の特別支援学校「都立あきる野学園」と連携しながら、農福連携を進めています。障がいがあることでさまざまな困難がある人々を、地域とむすび、多様な人が共に暮らす地域づくりに何が必要なのか。あきる野市の実践から考えます。

*内閣府令和5年版障害者白書より



生活クラブ東京 第56回通常総代会報告 つながれたから安心 と思えるような 出会いの場づくりを

6月13日、総定数300人の内、277人（内、書面134人）の出席で第56回通常総代会が開催され、全議案が可決承認されました。

冒頭、加瀬和美理事長より開催挨拶として、生活クラブ連合会全体で2023年4月より開始した「牛乳応援基金」の取組みについて報告がありました。牛乳応援基金を活用している酪農家から感謝と共に伝えられた「引き続き組合員に飲み続けてもらいたい」との声が紹介されました。最後に「牛乳をはじめとしたビジョンフード*1の生産は社会情勢の悪化により一層の厳しさを増しており、生産者との食べる約束を守るという原点に立ち返ることが必要です。生産者の思いをより多くの人に伝えるために、共に学び合える

仲間が生活クラブの財産です。組合員が入ってよかったと思えるような組織にするにはどうすればいいか。共に考え、実行していきましょう」と結び、活発な討議を総代に呼びかけました。

続いて、来賓の東京都生活協同組合連合会 村上次郎会長理事と、生活クラブ運動グループの東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合 和田安希代理理事長より祝辞をいただきました。



加瀬和美理事長

FEC 自給圏*2 と働く場づくり、ローカル SDGs を基本テーマに コミュニティを基軸とした「居場所と出番」のある組織と地域を実現しよう!

第1号議案 豊崎千津美副理事長より2023年度の活動と事業の実績を報告し、決算および剰余金処分案について承認されました。

2023年度はコロナ禍の制限が緩和され、組合員が生産者や地域の人と出会い・交流する機会が増え、イベントでの加入人数は前年を上回りました。期末組合員人数（配送・デポー）は91,134人と、期首人数より329人減少しました。消費材の値上げが相次ぎ、総利用高は配送・デポー共に計画を上回りましたが、一人当たりの利用点数は減少しています。組合員どうしのたすけあいのしくみである「エコロたすけあい制度」の給付実績は、組合員活動保障は前年度並み、生活保障とSuku²応援セットは前年度より減少しました。そのほか、デポーにおけるプラスチック削減のための紙トレーの実験取組み、住宅事業を外部化するための「(株)生活クラブすまい・る」設立、「さがみこファーム」ソーラーシェアリング設置のための組合員カンパ実績などが報告されました。



貸店舗7Daysで拡大イベントを開催（23区南）

第2号議案 金丸正樹専務理事より2024年度運動方針と事業計画、予算について提案し承認されました。

利用人数と利用点数の減少を受け、気候危機による産地への影響や原料確保の苦労、経費高騰の現状をどのように組合員に伝えるか、生産者は悩んでいます。組合員が生産者に会う機会をつくり、食べ続け生産し続けるための拡大と利用が大切です。生活クラブは新しい社会運動を進めるために、人とひととがつながるしくみを生みだしてきました。その1つが予約共同購入です。生産者との約束にもとづく予約共同購入への参加が、生活の中のさまざまな矛盾に気付く機会となります。あわせて、コミュニティを中心に「人の登場」を促し関係性をつくることで、地域でのSDGsの実践の基礎となります。2024年度も予約共同購入とまちづくりの運動を推進し、誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりをめざします。

設備投資はデポー町田リニューアル、生活クラブ保育園ほむ・砧レイアウト変更工事、さがみこファームSPC（特別目的会社）出資・融資などを予定しています。

質疑応答 「組合員の活動参加を推進するためのしくみづくり」「安心コールの成果と課題、運動グループに関する情報提供の状況」「生活クラブ保育園ほむの経営安定にむけた提案」「事業経費の削減内容」「配送員の働き方改革の実態」など、今後の議論につながる活発な意見交換が行われました。

第56回通常総代会 議決結果				
第1号議案	2023年度活動・事業報告および決算、剰余金処分承認について	賛成 272	保留 1	反対 1
第2号議案	2024年度運動方針および事業計画、予算の決定について	賛成 270	保留 1	反対 3
第3号議案	次期役員選挙管理委員の選任について	賛成 273	保留 0	反対 0

*1 生活クラブでは牛乳・鶏卵・お米・肉類・青果物を、食の安心・安全を支える大事な食品として「ビジョンフード」と呼んでいます
*2 FEC自給圏は、食（Foods）、エネルギー（Energy）、福祉（Care）を地域内で自給しようとする構想。内橋克人氏（評論家）が提唱



本総代会で退任された半澤理事（写真左上）と2024年度生活クラブ東京役員のみなさん



小宮山寛乃さん

農と福祉の親和性
成長を見守る豊かな時間

小宮山 農福連携は国の政策としても推進されており、2019年には「農福連携等推進ビジョン」も決定されました。農業と福祉をつなげることに、どのような可能性があるでしょうか。

原 障がい者福祉と農業は、そもそも関わりが深いものでした。40数年ほど前は、今のように地域にグループホームもなく、障がいの人は親元を離れて施設で暮らしていました。その頃から、地域の草刈りの手伝いやしいたけ・ぶどう栽培などを行っていました。栃木県のこころみ学園のワインが有名ですね。農業には身体全体を使うさまざまな作業があり、身体の使い方や道具の扱いを含め、働く力を高めます。

山崎 除草などの反復作業もあれば収穫や計量などもあり、障がいの状況にあわせて分担できます。それに、作物の成長は時間がかかりますよね。それを見守るといって、時間の豊かさがあります。

原 機械製造・食品製造などとはあるんですよ。計量の作業では、指示を聞き、目盛りを見て作業できるかなど、さまざまなことを見ます。

原 東京都の特別支援学校が行った調査結果では、雇用側が採用時に重視する点として、時間を守れる、指示を理解できる、不明な点を質問ができるなどがあります。アセスメントでは、自立性、積極性、責任をもって正確に作業できるか、指示が変わっても柔軟に対応できるかなど、作業態度の力も見ます。こうした態度は障がいの程度に関わらず、まわりから認められ受け入れられているという自己肯定感を高める経験から育まれます。これは子育てにも通じますね。親が子どものことをきちんと受け止めていくなかで、子どもも親のことを受け入れていく。そういう経験

多様な人と出会い、違いを認め合う
やさしい地域の育て方

形だけの「障がい者雇用」
ではなく

小宮山 さまざまな法整備が進んでいる点に、希望も見えました。**原** 「障害者雇用促進法」の整備が進み、障がいのある人が地域に出ていくことはすばらしいことです。一方、数値目標が独り歩きして

定のリズムで正確に行うことが求められ、それが品質に直結します。そういう作業が向いている人もいますが、農業はそれぞれのペースや方法ですすめられます。**小宮山** 私の息子はかまってもらいたたいタイプですが、農業では褒めてもらうなど、声をかけてもらう機会が多いように思います。除草では、抜いた草が山盛りになる

日本の障がい者雇用の現在

より柔軟な働き方へ

原 障がい者雇用については「障害者の雇用の促進等に関する法律」があります。「障害者手帳」を持つ人を一定の割合以上で企業等での雇用を義務付けた制度で、5年に1回見直されます。障がい者雇用率はヨーロッパでは5〜7%くらいですが、日本でも年々増え現在約3%です。雇用率は「障害者手帳」を持つ人がハローワークに登録すると上がるしくみです。国の雇用率の目標が上がっているため、企業等からの求人問合せも増え、働く時間も柔軟に変わろうとしています。これまで障がい者雇用は週20時間以上の労働時間でないとかウントされませんでした。今年4月からは重度の身体

を積むことが大事です。

山崎 あきる野学園では、本物から学ぶ、体験を通して学ぶ機会を大事にしています。作業学習で作った製品を行事などで販売するのはありますが、それだけでなく、定期的にお客さんと関係を持ち、フィードバックを得る仕組みが大切ですね。だからこそ、生活クラブ農園・あきる野の実習が最適なんです。自分がつくった大根や人参を、組合員に届けるという緊張感と達成感があります。そういう意味でも、地域に出て、公共の場で関わりを持つことが重要です。

小宮山 すばらしいですね。食品加工の作業学習では、鶏卵や小麦粉も消費材を使っていると聞きました。あきる野学園でつくられた加工品を、生活クラブでも取組みができると思います。

企業が「障がい者を雇用するためだけの仕事」をつくってしまわないか、懸念しています。

山崎 企業で働いていると、社会との接点ややりがいを感じることもできないとしたら、本当に辛いと思います。

原 静かで落ち着いた環境などの配慮が必要という人も確かにいま

ので達成感もある。外で活動すると疲れて夜ぐっすり眠れるという良さもあります。**原** SDGsでも話題になるように、農業自体が見直されている背景もあります。農業を中心に、地域を結びなおす動きがあるのではないのでしょうか。関わる人が増えることで、働く場も増えるのではと期待します。

障がい・知的障がいのある人と「精神障害者保健福祉手帳」を持つ人は、週に10時間以上の労働時間でカウントされるようになりました。そうすると週2日企業等で働き、週3日は通所サービスを受けるなど選択肢が広がります。雇う側も働く側も多様な働き方に変わってきています。

小宮山 そうだったんですね。子どもが成長するとうつろした情報に疎くなっていました。学校では法律の変更を受けて変化がありましたか。

山崎 企業からの求人が増えました。生徒たちは現場実習として企業などで体験をし、自分の適性を考えますが、実習を受け入れる会社が増えることで進路選択の幅が広がっています。

原 障がいのある人は「こういうす。しかし、所属する会社のなかで、まわりに期待され、それにこたえることを仲間と一緒に経験することが大事です。雇用側も雇用率だけを遵守するのではなく、社員一人ひとりが周囲のために自分の役割を果たしながら一緒に働く環境を用意することが大切です。

山崎 働く場合、その会社のことを知り、自分の希望と合うかを検討してから就労するのが一般的です。障がい者雇用も同様です。会社の一員として認められる形であってほしいと思います。

理解を深め合う
土壌をつくる

原 今年から「障害者差別解消法」が改正され、障がいのある人への「合理的配慮」「環境の整備」が事業者にも義務付けられ、バスや遊園地なども利用しやすい時代になってきたと思います。しかし、地域には、障がいの有無だけではなく、年齢や国籍などの異なる多様な人が生活しています。さまざまな人と関わり合い、他者との違いを目にしながら互いに理解を深めていく。そういうことを経験することで、やさしい地域が育つのではないのでしょうか。

山崎 生活クラブ農園・あきる野の野菜に同封される生産者カードには、あきる野学園のことも紹介していただいております。それを見て本校を知ったという声をいただい



山崎達彦さん

環境なら安心して働ける」「こういうことは得意でこれは苦手」と自分のことをよく理解して、相手に伝えることが難しい場合もあります。だからこそ、実際の現場を見学・体験することで相互理解を深め、どのような配慮があれば働けるか、マッチングする機会が大切です。

自分の良さを知り、
自己肯定感を育む

原 来年から「就労選択支援」も始まります。この制度では、本人の就労ニーズや適性の評価、配慮事項等の整理をする「アセスメント」を受けられます。これまでは高校3年生の一回だけでしたが、高校1年生から時期や場所を変えて毎年実施でき、さらに成人になつてからも受けられます。今は誰も働く期間がのび、65歳〜70歳まで働くようになりました。障がいのある人も、その時々で状況で雇用先を選べる必要があります。

山崎 生活クラブ農園・あきる野で生徒がアセスメントを受けること

たこともあります。こういう取り組みをしていることを、地域に、社会に伝えていくこと。それが、生徒が社会に出ていく着実な一歩につながります。

小宮山 生産者カードで取組みを知ってもらえるのは嬉しいです。きっかけさえあれば、関心を寄せられる組合員も多いと思います。生活クラブ農園・あきる野の野菜から、農福連携を進めていきたいです。

原 ひとつのブランドのようですね。あきる野学園に通う生徒よりも障がいが高く、外に出られない人もいます。そうした人にも動画で農園の取組みを紹介したり、つくられたもので料理をしたり、さまざまなつながりを地域につくり「こういう選択肢もある」と示せるというなと思います。この辺りは電車も1時間に2本しかありません（笑）だからこそ、地域のつながりを育てていきたいと思っています。

小宮山 いいですね！生活クラブの消費材は、遺伝子組み換え対策や添加物対策など、それぞれにメッセージが込められています。生活クラブ農園・あきる野の野菜にも、そうしたメッセージをのせて、多くの人に届けたいです。



原智彦さん

生活クラブ農園・あきる野とは

あきる野市内の休耕地を借用して2016年8月に開園。都市農業を推進し、国内自給力向上をめざす取組みの一環として、市民の農業参画、農業にできるだけ頼らない栽培、江戸東京野菜（伝統野菜）づくりに挑戦しています。直営農場と農業体験農園の2つの事業からなり、直営農場で収穫された野菜は、青梅センター・東村山センターの組合員や都内のデポーに供給しています。農業体験農園は名称を生活クラブ農業体験農園「のらっこ あきる野」とし、組合員から入園者を募り運営しています。



詳細はこちら▶



◀都立あきる野学園の生徒が農園で見つけた生物を描いた絵(下)を、生活クラブ農園・あきる野に掲示しています



◀5月の農園芸作業学習では、赤玉ねぎを収穫しました。一列に整然と並べていきます



Q わたしの声 Q & A

Q: 鶏卵 10 個パックの卵の大きさが不揃いなのは、なぜですか?

A: 鶏卵の大きさは親鶏の月齢によってかわり、若い鶏が産む卵は小さく、成長した鶏が産む卵は大きくなります。

鶏卵の生産者である(株)生活クラブたまごでは、2022年12月に鳥インフルエンザが発生し保健所の指導のもと全羽殺処分を行いました。そのため、若鶏が多く小さい卵が多くなる傾向にあります。産まれた卵を食べるために、鶏卵10個パックの規格を総量550g以上、大小混みとしています。

(株)生活クラブたまごでは生活クラブの組合員のためだけに鶏卵を生産しています。注文ができない期間もあり組合員のみなさんにはご迷惑をおかけしましたが、これからもぜひ予約して食べ続けることで持続可能な生産をささえる活動にご協力ください。



▲注文・予約はこちら(eくらぶ)

生活クラブの鶏卵は希少な国産鶏種

生活クラブの鶏卵を産んでいるのは純国産鶏種の「さくら」と「もみじ」。日本の環境に合わせて健康に育つように国内で育種改良された鶏種です。飼料原料の輸入穀物には、遺伝子組み換え作物の混入を防ぐ対策をとり、収穫後農薬不使用(ポストハーベストフリー)のものを使用します。さらに国産の飼料用米を配合した飼料を給餌しています。

6月 理事会報告 議事抜粋

- 2023年度監査意見への回答
- デポー町田のリニューアル工事の予算および工期について
- 保育園ぼむ・砧(分園)の0歳児専用の園への変更について
- 2024年度個別役員報酬額の決定について

東京理事の リレーコラム



学校給食での牛乳 200ml びんの取組み

生活クラブにとって牛乳は、生活クラブ運動誕生のきっかけであると同時に、共同購入の原点となった消費材です。生産者である新生酪農(株)は、日本で初めて組合員と酪農家が直接提携し共同経営する牛乳工場として設立されました。現在では学校給食用の牛乳を千葉県と東京都の複数の自治体に供給しています。都内では、青梅市、多摩市、稲城市、日野市の4つの自治体に供給し、小学校と中学校に通う子どもたちがパスタライズド牛乳のおいしさを知り、びん容器のリユースやキャップのリサイクルを体験する機会として高い評価を受けています。「子どもたちの三分の一は給食でできている」という言葉があります。子どもたちには、おいしい給食を毎日おなかいっぱい食べてほしいものです。

一方で酪農経営は、配合飼料や輸入粗飼料をはじめ、あらゆる資材が高騰し、厳しい状況が続いています。提携生産者の新生酪農クラブ、那須帯根酪農協、南信酪農協の酪農家が安心して持続可能な生産をするために、利用結集(飲むこと・食べること)が欠かせません。子どもたちの未来のためにも、消費材の物語を多くの方に伝えながら共感を広げ、消費の維持と拡大(仲間づくり)を広げていきましょう。まずは、お一人の組合員紹介を!

(生活クラブ東京 専務理事 金丸 正樹)

..... 切り取って下の部分を提出してください



わたしの声 カード

生活クラブや消費材への意見・要望、企画申込みはこの用紙で。
回答は、組合員活動の経験を活かして専任スタッフがお答えしています。

氏名	電話番号
センター 組合員 デポー コード	

提出日	事務局記入欄
/	センター/デポー 東京本部
	/ 印

〈お願い〉 ご記入の内容について該当項目に○をつけてください。
①提案・要望・質問 ②みんなに伝えたいこと ③ジョイエスの感想 ④企画申込み ⑤その他
●質問には2週間程度でお答えしていますが、詳しい調査が必要な場合などさらに時間をいただくことがあります。
※事故品の連絡は現物を保存のうえ、すぐにコールセンター・デポーにお電話ください。生鮮品の報告は翌週までです。
※配送をご利用の方は配達便に、デポーをご利用の方は各デポーのフロアーワークスまでご提出ください。

ご希望のイベント名をご記入ください

※ご記入いただいた情報は目的以外、または次の条件以外では第三者に開示しません。
①ご本人の同意がある時 ②ご本人と特定できない状態で開示する時 ③生活クラブの関連団体、提携先より回答することが望ましい場合。

生活クラブ東京 WEB サイトからも提出できます。みなさんの声をお待ちしています。

展示即売会

スーツ・ジャケット・ワイシャツのお仕立て

●生活クラブ赤堤館 常設会場

10:00 ~ 16:00 定休日:火・水・日
会場:生活クラブ赤堤館(世田谷区赤堤 4-1-6)
スーツ・ワイシャツのお仕立ては、いつでも赤堤館で受け付けします。クールビズで役立つパンツ、半袖ワイシャツもお仕立ていただけます。

展示会関連 問合せ先

TEL 03-3324-4502 (10:00 ~ 16:00)
定休日:火・水・日 (9/5 ~ 水・日)
(夏季休業: 8/11 ~ 18)

●天地堂 ランドセル

2025年モデル発売中!ランドセル専門店の天地堂が自信をもっておすすめします。人気カラーから品切れになります。ランドセルをお買い上げの方にもれなく、防水用カバーをプレゼント!カタログご希望の方は、お電話または右上の二次元コードよりお申し込みください。

●きく屋宝石店

ジュエリーお悩み相談会

9月5日(木) ~ 17日(火) 10:00 ~ 19:00
※ 9/8、15、16は18:30まで
会場: (株)きく屋宝石店 渋谷本店(渋谷区渋谷 1-8-7)
思い出のつまった宝石が、生まれ変わって輝き続けます。さまざまな修理、お直しに対応しております。他店でご購入の商品も修理をお受けいたします。

事業部

TEL 03-5426-5206
(夏季休業: 8/11 ~ 18)

協同村

豊かな自然の中で、農業体験やキャンプなどが楽しめる生活クラブの施設です
入材料: 510円(4歳~小学生310円)
※繁忙期(7/1~8/31)はプラス200円
駐車料: 600円/1日

【ワーカーズ・コレクティブ草の実主催企画】

●石窯で焼くライ麦パンと スモークチーズ

8月3日(土) 10日(土) 10:00 ~ 15:00
参加費: 2,500円/1人
生地ねり、醗酵、成型、窯入れから窯出しまで行います。空いた時間でチーズをスモークします。オプションでお昼にピザもあります。(要予約・別料金)

●石窯ピザ焼き体験

8月4日(日) 11日(日) 18日(日) 9月15日(日) 22日(日) 11:00 ~ 13:00
参加費: 1,600円/1人
ピザ生地を伸ばしてトッピング。石窯に入れて焼きます。

●多摩産のチーズを使って 石窯ピザ焼き体験

9月14日(土) 11:00 ~ 13:00
参加費: 2,300円/1人
ピザ生地を伸ばして多摩産チーズをトッピング。石窯に入れて焼きます。

【NPO 法人地球野塾との共催企画】

●基地作りデイキャンプ

9月29日(日) 9:30 ~ 16:00
参加費: 5,000円/1人
シェルターを作って、ピンチの時に自分の身を守る方法を体験します。

協同村ひだまりファーム

あきる野市戸倉 863
TEL 042-596-0103
休村日: 火・水 (8/31まで休村日なし)

生活クラブの学校

受講料は組合員価格。記載のない場合無料
オンラインの記載がない場合は会場のみ
会場記載がない場合は生活クラブ館開催
(世田谷区宮坂 3-13-13)

【生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合との共催企画】

●会話で世の中を豊かにする ~株式会社御用聞きの実践

(オンライン併用講座)
9月7日(土) 14:00 ~ 16:00
講師: 古市盛久さん(御用聞き 代表取締役)
(株)御用聞きは、暮らしの中のちょっとしたお手伝いを請け負い、地域の課題の解決をめざす新しいビジネスモデルです。非営利の市民事業を地域に根付かせ継続するためのヒントや、サービスを通した人とのつながりの作り方などを学びます。

インクルーシブ事業連合

TEL 03-5426-5207
(夏季休業: 8/10 ~ 18)

【NPO 法人コミュニティスクール・まちデザイン (CS まちデザイン) との共催企画】

食農共育講座

●家庭の食医 季節の養生法

9月3日(火) 10:30~12:30
講師: 中島玲子さん(漢方薬・生薬認定薬剤師、国際中医師、国際中医薬膳管理師)
受講料: 2,800円
1回ごとにお申込みいただける講座です。今回は「便秘」をテーマに養生法を学びます。

●東京都「災害シナリオ」を読み解く! ~どうなる? 私たちの水・食・暮らし~

(オンライン併用講座)
9月10日(火) 10:30 ~ 12:30
講師: 篠達小登美さん
(一社) 地域防災支援協会 防災アドバイザー)
岩永やす代さん
(東京・生活者ネットワーク 都議会議員)

受講料: 2,000円
首都直下型地震の新たな被害想定をまとめた「災害シナリオ」と「東京防災」の内容を解説いただき、一人ひとりの防災への備えと共に、都市での暮らし方・食のあり方や地域コミュニティの必要性について考えます。

●たべものラボ実践講座~学んで確かめる講座・機能性表示食品編~

9月12日(木) 10:30 ~ 12:30
講師: 近藤恵津子さん(CS まちデザイン 理事長)
受講料: 1,500円
「紅麴サプリ」が問題になる以前から、機能性表示食品制度は見直しが求められていました。本当に体にいいの? トクホとの違いは? など、具体的な食品を通して考えます。

NPO法人CSまちデザイン

TEL 03-5426-5212
(夏季休業: 8/10 ~ 17)

【環境政策委員会主催企画】

●ゲノム編集食品って何? (オンライン併用講座)

9月13日(金) 10:30 ~ 12:30
講師: 原英二さん(日本消費者連盟、遺伝子組み換え食品いらない! キャンペーン)
ゲノム編集技術で品種改良された「GABA高蓄積トマト」と「肉厚マダイ」の市場流通が始まっています。遺伝子組み換えやゲノム編集の問題点を学び、ゲノム編集食品の都内での流通状況を共有します。

政策調整部

TEL 03-5426-5204
(夏季休業: 8/10 ~ 18)

【東京ワーカーズ・コレクティブとの共催企画】

石けんおそうじマイスター講座

自然派クリーニングの基礎と実演を学ぶ講座です

●風呂・トイレ・キッチン・窓のお掃除実技編

8月20日(火) 14:00 ~ 16:00
会場: 練馬センター(練馬区中村南 2-22-3)
9月10日(火) 14:00 ~ 16:00
会場: 多摩統合センター(町田市小山ヶ丘 2-3-11)

●石けん・重曹他使いこなしと換気扇洗い 実演編

8月23日(金) 14:00 ~ 16:00
会場: 練馬センター(練馬区中村南 2-22-3)
9月20日(金) 14:00 ~ 16:00
会場: 多摩統合センター(町田市小山ヶ丘 2-3-11)

講師: NPO 法人コンチェルティーノ、(一社) 共に働くワーカーズえんこうらしょ、ワーカーズ・コレクティブ スーコンタン

東京ワーカーズ・コレクティブ 協同組合

TEL 03-3207-1941

※社会情勢を鑑みて、企画内容が変更、または中止・延期となる場合があります。ご了承ください。

仕事に!勉強に!コワーキングスペース永福

さまざまな人・働き方に出会う まちの拠点

生活クラブのお店・デポーすぎなみ永福の2階にあるコワーキングスペース永福は、さまざまな働き方、学び方をサポートする場として、2019年にオープンしました。同じ空間を共有することで、それぞれの経験を生かした交流やコラボレーション、地域の方々のつながりをつくり、交流の拠点になることをめざしています。

ご利用案内

共有エリアのコワーキングエリア、席に区切りのあるシェアデスク、決まった席を継続して利用できる固定ブースがあります。働き方や学び方に合わせて、ご利用方法をお選びください。

▼ドロップイン

予約なしで共有エリアを利用できます。
550円/時間 1,650円/日

ドロップインを定期的に利用される方には、お得なチケットも!

【タイムチケット】10時間分の料金で11時間利用可能：**5,500円**

【デイチケット】10日分の料金で11日利用可能：**16,500円**

▼月額会員

【コワーキングエリア】

共有エリアのデスクを定額で。

16,500円/月



【シェアデスク】

仕切りのあるブースをフリーアドレスで。

22,000円/月



【固定ブース】

専用席を利用できるプラン。セキュリティシステムも充実。

33,000円/月



若者応援! U18

18歳以下限定! 共有エリアを利用できるフリーチケットがお得!

1ヵ月: 10,000円 2週間: 5,000円

レンタルルーム

レンタル料金：**1,100円/時間**

会議やワークショップなどさまざまな集まりに利用できます。wi-fi完備でオンラインミーティングにも。用途に合わせて2タイプのお部屋が選べます。

会議室▶



赤ちゃんもOK!
多目的ルーム▶



※料金はいずれも生活クラブ東京の組合員価格(税込)

あたらしい世界が見える場所

まちすぎなみ南 **国分 瑠衣子**さん



2019年にフリーランスのジャーナリストになりました。自宅でも仕事はできますが、人との交流も持ちたいと考えていた時に見つけたのが「コワーキングスペース永福」でした。

現在はシェアデスクの月額会員に登録し、子どもが学校に行く日中に利用しています。仕事も集中でき、利用者やスタッフとのちょっとした会話も楽しいです。ほかの仕事の一面が見えたり、子育ての相談に乗ってもらうことも。週末は夫が子どもを連れて来て勉強を見たり、子どものワークショップに参加したりと、家族みんなで利用しています。

子育て中の方、いろんな業種の方に出会いたい方、そして日常を変えたいという方におススメです。

国分さんの

「ここがおススメ!」

1階にはデポーすぎなみ永福

何度フライパンチキンを買って帰ったことが! 夕飯の買い物ができるので助かります。

フリードリンクも消費材!

消費材のお茶や、ドリップコーヒーが利用できるのがうれしい!

交流イベントも開催

ちょい飲み会の会など交流を深める企画が楽しいです。ここで出会った方と盛り上がり、日本酒のイベントに遊びに行きました。



詳細はこちら▲

〒168-0063

東京都杉並区和泉 3-7-1

生活クラブ館杉並2階

TEL 03-6265-8675

【営業時間】

平日 9:00 ~ 21:00 (受付時間 9:00 ~ 20:00)

土日祝 9:00 ~ 17:00 (受付時間 9:00 ~ 16:00)

定休日 年末年始、夏季休業(8/14 ~ 16)



京王井の頭線 永福町駅より 徒歩3分